

## 第2回 宗像市国土利用計画等審議会

令和5年8月29日（火）

都市再生部 都市計画課 都市計画係

## 今回審議会での審議事項

0. 前回の振り返り
1. 防災まちづくりの将来像
2. 市全体としての取組方針
3. 課題に対する取組方針
4. 取組施策とスケジュール
5. 防災まちづくりの目標値

その他

## 《 防災指針とは 》

- 主に居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定めるものであり、居住や都市機能の誘導を図るうえで必要となる都市の防災の機能確保に関する指針

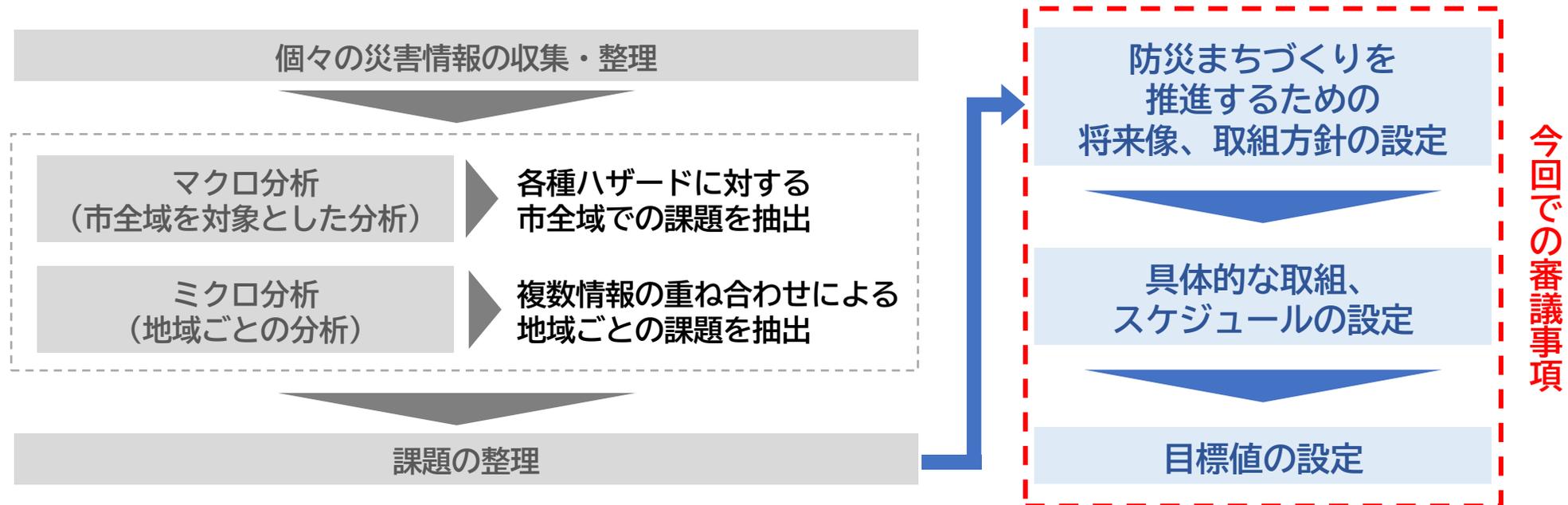
このため、防災指針の検討に当たっては、

- ① 立地適正化計画の対象とする地域の災害リスクの分析、災害リスクの高い地域の抽出
- ② リスク分析を踏まえた居住誘導区域の設定や、既に設定している居住誘導区域の見直し
- ③ 居住誘導区域における防災・減災対策の取組方針及び地区毎の課題に対応した対策の検討

を行うことが必要

## 《 防災指針策定の流れ 》

- 主な災害情報を収集・整理し、宗像市全域を対象としたマクロ分析、地域ごとに課題を抽出するミクロ分析を実施し、課題を地図上に示すことで災害リスクの見える化と課題の整理を行う。
- その課題に対して、宗像市のまちづくりの方向性を踏まえ、防災まちづくりの将来像や災害リスクを低減・回避するための取組方針を設定し、さらに取組方針に対する具体的な取組やスケジュールを設定する。



## 第2次宗像市総合計画（後期基本計画）における施策区分（防災に係る部分）

- 防災に対する啓発
- 災害に備えた活動支援
- 被害拡大の防止と復旧対策の実施

## 宗像市地域防災計画における防災ビジョン

災害に対して「自分たちのまち自分たちで守る」という考えを基に、市民・行政・関係機関・団体等がそれぞれの役割を自覚し、互いの連携を基本として災害対応を行う。

### <基本理念>

- ① 災害に強い組織・ひとをつくる
- ② 災害に強いまちをつくる
- ③ 防災施設・設備・体制を強化する
- ④ 実践的な応急・復旧・復興対策計画を確立し、非常時に備える

## 本市が目指すべき将来像

コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市

### <防災まちづくりの将来像>

「市民・行政・関係機関・団体等の連携により、  
災害にも強く魅力的な生活交流都市」

※第2次宗像市総合計画に記載の内容

### ■ 「施策区分：防災に対する啓発」に対する主な取組事項

- ・ 市民や関係団体、行政などが一体となった総合防災訓練の実施
- ・ 災害対策本部の設置及び運営訓練の実施
- ・ 地域の防災活動に対する支援
- ・ 自主防災組織リーダー育成支援の強化
- ・ 自主防災組織の活動支援

### ■ 「施策区分：災害に備えた活動支援」に対する主な取組事項

- ・ 迅速かつ適切な情報の収集と新情報配信システムによる発信
- ・ 幅広い情報発信手法の調査研究
- ・ 指定避難所に整備された防災資機材の管理と更新、操作方法の習得
- ・ 避難所運営マニュアルなどの見直し
- ・ 社会福祉法人などとの「福祉避難所開設・運営に関する協定」の締結推進

※第2次宗像市総合計画に記載の内容

### ■ 「施策区分：被害拡大の防止と復旧対策の実施」 に対する 主な取組事項

- ・ 国土強靱化地域計画の策定及び運用
- ・ 災害が発生した場合の情報収集
- ・ 災害が発生した場合の応急対応や復旧工事の実施

#### 【戦略的取組】

##### ○協働

地域の防災力強化のために、市民や地域と協働し、地域のニーズにあわせた防災訓練などの活動を実施

### 3. 課題に対する取組み方針

#### ★エリアごとの取組方針の表についての説明 (報告書P3-3以降)

① 課題

・第2章で整理した各種ハザードの課題

② 災害ハザード

・対象となる災害ハザード

③ 取組の方向性

方向性1 : リスクの回避

➡防災対策によって被害の軽減・抑制を図ることが困難なため、リスクを回避する

方向性2 : リスクの低減

➡浸水対策、土砂災害防止のためのハード整備、避難体制の充実、効果的な災害情報の提供等により、災害時の被害を低減するための取組

① 課題	②	洪水 (計画規模)	洪水 (最大規模)	内水	ため池氾濫	高潮	津波	土砂災害	③ 方向性
指定緊急避難場所（サンリブくりえいと宗像）及び周辺が浸水する恐れがある	○	○	—	—	—	—	—	—	リスクの低減
最上階の床高まで浸水し、垂直避難できないほか、指定緊急避難場所まで時間を要する	○	○	○	○	○	—	—	—	リスクの低減
市役所が浸水する恐れがある	—	○	—	—	—	—	—	—	リスクの回避
アンダーパスが浸水し、通行できなくなる恐れがある	○	○	○	—	—	—	—	—	リスクの回避

# 4. 個別の取組内容とスケジュール

## ★取組施策とスケジュールの表についての説明 (報告書P4-1以降)

- ① 対策の分類
- ・災害リスクの回避
  - ・災害リスクの低減(ハード)
  - ・災害リスクの低減(ソフト)

- ② 取組施策の分類
- ・インフラ等整備
  - ・意識啓発、情報発信
  - ・計画検討、避難・防災体制の充実
  - ・情報発信
  - ・情報発信、避難・防災体制の充実
  - ・避難・防災体制の充実

- ③ 災害ハザード
- ・対象となる災害ハザード

① 視点	② 方向性	③ 災害ハザード						④ 取組施策	⑤ 主体				⑥ スケジュール		
		洪水(計画規模)	洪水(最大規模)	ため池氾濫	高潮	津波	土砂災害		福岡県	宗像市	市民	事業者	短期(5年)	中期(10年)	長期(20年)
災害リスクの回避	意識啓発、情報発信	●	●	●				浸水時におけるアンダーパスの通行を防ぐため、防災マップによる周知迂回の啓発		●					→
	避難の充実・防災体制の充実		●					市庁舎が建物損壊等により機能を全うできないときは、宗像ユリックス、メイトム宗像(市民活動交流館)の順で、いずれかの施設に本部室を確保		●					→
災害リスクの低減(ハード)	インフラ等整備	●	●					河川の浚渫等(流下能力の維持)	●	●					→
		●	●					河道掘削・拡幅、護岸整備、樹木伐採	●	●					→
							●	急傾斜地崩壊防止施設の管理	●	●					→
		●	●	●				水田の貯留機能向上	●	●					→
				●				水路・側溝の浚渫	●	●	●				→
					●			ため池の補強	●	●					→
		●	●	●				ため池の有効活用		●					→
				●				調整池の浚渫		●					→
					●	砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域の維持補修等を促進	●	●	●					→	

# 4. 個別の取組内容とスケジュール

## ★取組施策とスケジュールの表についての説明 (報告書P4-1以降)

- ④ 取組施策の内容(関連計画)**
- ・宗像市国土強靱化地域計画 令和5年度年次計画
  - ・宗像市地域防災計画
  - ・雨に強いまちづくりビジョン(雨水管理総合計画)
  - ・福岡県「流域治水」北九州宗像圏域 流水治水プロジェクト【ロードマップ】
  - ・各個別の計画

**⑤ 取組施策の実施主体**

- ⑥ スケジュール**
- ・各取組施策の実現時期の目標

① 視点	② 方向性	③ 災害ハザード					④ 取組施策	⑤ 主体				⑥ スケジュール			
		洪水(計画規模)	洪水(最大規模)	ため池氾濫	高潮	津波		土砂災害	福岡県	宗像市	市民	事業者	短期(5年)	中期(10年)	長期(20年)
災害リスクの回避	意識啓発、情報発信	●	●	●					●				→		
	避難の充実		●							●				→	
災害リスクの低減(ハード)	インフラ等整備	●	●					河川の浚渫等(流下能力の維持)	●	●			→		
		●	●					河道掘削・拡幅、護岸整備、樹木伐採	●	●			→		
							●	急傾斜地崩壊防止施設の管理	●	●			→		
		●	●	●				水田の貯留機能向上	●	●			→		
				●				水路・側溝の浚渫	●	●	●		→		
					●			ため池の補強	●	●			→		
		●	●	●				ため池の有効活用		●			→		
				●				調整池の浚渫		●			→		
					●	砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域の維持補修等を促進	●	●	●		→				

### ① 自主防災組織の設立割合

現状 (令和3年実績)	目標数値 (令和27年)
100%	100%

### ② 災害発生時の避難場所を把握している市民の割合

現状 (令和3年実績)	目標数値 (令和27年)
87%	100%

- 次回の審議会について
- スケジュールなど